

【意見の分類】
 ■ 良い点 ■ 課題点 ■ その他（意見など）
 【取組の主体】
 ● 行田市 ● 市民、団体、事業者 ★ 一人一人から始められる取組

田園
 ■ 道路沿道に選挙看板や議員の立て看板が多く、水田が広がるエリアでは特に目立つ
 →行政と企業が連携し、改善のための働きかけ・仕組みをつくる必要がある ● 民

星川
 ■ キタミソウを守る会など各団体のサポートが必要
 →星川周辺で活動するキタミソウを守る会の活動PRや継承、フォローを行う ● 民
 →学校との景観学習での連携 ● 民

総合公園
 ■ 特に冬季の風景は素晴らしいためPRしたい
 ■ 麦の時期が特に美しく、外国人観光客からの人気が高い
 →SNS や市の認定を活用したPRの実施 ● 民★

忍川
 ■ 忍川の桜がすばらしいため活かしたい
 ・市の広報誌において、川を美しくするための普及啓発を行う（ゴミ捨て禁止など） ●
 ・川にゴミを捨てないように呼びかけを行う ● ★
 ・忍川でカヌーを浮かべたい ● 民
 ・忍川の除草・清掃活動や害虫駆除対策を行う ● ★

河川全般
 ・河川を散歩できるように整備してほしい ●
 ・老朽化した施設の更新が必要 ●
 ・河川の浄化を進める ●

行田駅周辺
 ・JR 行田駅から観光地までの道に花や木を植樹し、日陰をつくりたい ●
 ・JR 行田駅から観光地までの通りに分かりやすい標識をつくる ●
 ・JR 行田駅から観光地までのアクセスを向上させる（バスの運行など） ●

利根川・見沼元塚公園
 ■ 行田市民が活用していない
 ■ ジェットスキー利用者のマナーや騒音に問題がある。ジェットスキーとカヌーが近くで行われるため危険
 →河川利用のルール作りやマナーの向上の呼びかけが必要 ● 民
 ■ 桜の風景が素敵だが、風車や歩道の整備が必要。30年ほど前は子連れで遊べる綺麗な場所だった。風車や展望台があるが、汚くなって暗い印象

市民活動（担い手など）
 ■ ロードサポーターによる花壇整備が行われていたが、活動の継続維持が困難であるため現在は中止している。例えば、水まきが重労働である。市民の力だけでは継続が困難である
 ■ 学校や子どもの数も少ないため、学校との連携は期待できない
 →民間企業から担い手を募るなど、民間企業の参加を促す ● 民
 →活動の継続には人手やボランティアが必要（組織化など）
 ・行田の景観を守っていくのは若者世代。学校教育に景観学習を取り入れるなど子どもの頃から景観を意識できるような取り組みが必要 ●
 ・市民活動に対する市からの積極的なPRがあると良い ●

さきたま古墳公園・埼玉古墳群周辺
 ・さきたま古墳公園～古代蓮の里を繋ぐ河川に和舟を運行させる／手漕ぎボートを配置し市民が自由に利用できるようにしたい ●
 ・古墳からの冬季の眺望が美しいためPRしてほしい ●

街路樹
 ■ 植樹樹など樹木に対して脆弱な整備になっている
 →樹木は人の利用、歴史、機能、維持管理等のあり方を考えて活かしてほしい ●

PR
 ・市に良い景観を認定し、HPなどで発信してもらう ●

お祭り
 ・祭りで街を盛り上げる（火祭りや蓮祭りの復活） ● 民
 ・初めて開催した古墳祭りが大変賑わった。まちづくりに祭りを活かしても良いと思う ● 民

水城公園
 ・釣り堀利用者のマナー向上のために看板を新しくする／釣り人を含めた公園利用者のマナーの徹底 ●
 ・池にカヌーを浮かべて憩いの空間にしたい ●
 ・新しくスターバックスができるので、ヴェール・カフェとスターバックスのすみ分けが必要 ● 民
 ・人工河川をつくり、川の流れを再現することで人々の憩いの空間をつくりたい ●
 ■ 水城公園の景観を守るため、ファイブイズホームの広告物を考えてほしい／エリアの個性と調和した広告物であれば、企業の価値もUP するのではないかと
 →景観を害する広告物のコントロール（規制・誘導） ●



【意見の分類】

■ 良い点 ■ 課題点 ・ その他（意見など）

【取組の主体】

● 公：行田市 ● 民：市民、団体、事業者 ★：一人一人から始められる取組

忍城址、忍東照宮周辺エリア

- 以前は楽しい子どもの遊び場で地域の方の井戸端会議が見られた。その後、管理の理由から徐々に使われにくくなった
→もっと地域に開く視点が必要である ● 公 ● 民
- 博物館や忍東照宮など、多くの機能が集積しており、価値のある場所である。ただし、忍東照宮周辺の樹木が茂り、上手に使えていない
→お宝がたくさんあるエリアなのでもっと市民で共有できるようにしたい ● 公 ● 民
- 忍城址のライトアップがとても綺麗なのでPRを強化してほしい
→市民や来訪者にもっとPRすべき ● 公
- ・土手の法面を強調して歴史をより実感させるようにしたい。そのためにも、宮司さんとの話し合いで共有できる考えを探り、新展開のアイデアを決める ● 民
- ・浮き城を感じさせるように土塁や湿地感が欲しい

行田市の歴史文化景観の特徴

・「古代～「みらい」へタイムスリップできるまち」という特徴を可視化し、資源を繋ぎ、市の魅力としていきたい。

まちなかのまちづくりを横断的に考える体制づくり

- ・こうしたまちなかの話を市民や団体、庁内関係課が横断して話す場が必要／関係者間での情報の共有が大切 ● 公 ● 民
- ・昔の人の話、外から来た人の意見、子供目線の新しさを取り入れたい
- 外の人をどのように呼込むか、外の人が行田を知る機会が少ない。情報発信に課題がある

北谷通り

- ・牧禎舎、忠次郎蔵、時田蔵、子ども食堂、蓮華寺、ゼリーフライのお店など、沢山ある資源を連携させたい ● 公 ● 民
- ・さらに沿線住民を巻き込む工夫をしたい
- ・かつて蓮華寺でお祭りをしていたみたいなので復活させるなどして、蓮華寺をまちづくりに巻き込む取組みをしたい ● 民
- 車が通りづらい道＝歩行者に良い道である特性を活かしたい
- ・子ども食堂が新しくできたが、建物が今風でもったいないため、修景を検討してほしい ● 公 ● 民

点や線の資源を面にしていく取組み

- 蔵や歴史的建造物の景観保全改修のための資金確保が課題
→行政の補助とクラウドファンディングなどの資金をMIX&活用できる新しい仕組みの検討（行政による条例づくり） ● 公
- 浮城の径の池越しに見る忍城址との間に電線がある
→忍城址が綺麗に見えるポイントを可視化し、課題点を明らかにした上で眺望を改善する取組みを行う ● 公
- ・フォトスポットや眺望スポットを発掘し整備する ● 公
- ・空き家・駐車場を活かして資源と資源を繋ぐ取組みの実施。具体的には、空き家活用や複数人で空き家を借りる、駐車場を活用したマルシェの実施などを実施 ● 公 ● 民
- ・スポットを繋ぐ途中で休憩スポットやトイレを整備する ● 公
- ・花手水に繋がりをもちたい ● 公 ● 民
- ・戸田市の三軒協定のような仕組みは良いと思う。三軒だとハードルが高そうなので、お向かいやお隣くらいの単位で小さく始められると良いと思う ● 公 ● 民

浮き城通り

- ・花手水やわらべ人形等でどうやって楽しめる道づくりをするか検討が必要 ● 公 ● 民
- ・大長寺の大仏がすばらしいのでライトアップをしたい ● 民

埼玉古墳群

- 古墳公園は特別史跡になり、芝刈りなどできれいに保たれ（管理水準がアップした）、周囲のガードレールも茶色になるなど、落ち着いて良い景観になってきた
- 丸墓山の直下に太陽光発電パネルの検討が進んでおり、景観への影響が懸念される
→埼玉古墳群を大事なコアとすれば、その周辺への一定の土地利用等の規制を検討 ● 公
- ・古代蓮方面から見た景観の確保と活用を進めたい。行田らしい原風景であるため、雑草などのメンテナンスや、マラソンコースの変更なども検討できないか ● 公 ● 民
- ・埼玉古墳と古代蓮を結ぶ旧忍川を活用した観光。古代は舟運が活発だったため、舟を両観光地の結びつきにできないか ● 公
- ・川の活用や舟運の復活により古代蓮・古墳公園・忍城（町中）のアクセスをつくれませんか ● 公
- ・セグウェイで古墳めぐりが出来たら良い ● 公
- 旧忍川を活用した観光面でのネットワーク形成が求められる
- ・往時を偲ぶ復元住居などの学びや体験機能を付加させたい ● 民
- ・古墳を作った時代の技術面での知見（どのような方法で都の方向を知ったか等）を説明に加える
→古墳の価値を更に高めるような機能の付加等を検討する ● 公

八幡通り・行田八幡神社

- 空き家店舗が多すぎてもったいない／飲食店が少ない
- ・昔は商店がずらっとひしめいていた。昔はこんなお店だったという表札を出して、昔の姿を感じられるようにしてはどうか ● 民
- ・今津蔵から八幡町通りにつながる道を活かしたい ● 公 ● 民
- ・田代医院の建物を活用できないか ● 公 ● 民

水城公園とその周辺

- ・田山花袋文学碑は、田舎教師の内容から印象的な部分が表碑に、文学碑の由来が裏碑に記されている
→市民と観光客の双方に向けてPRすべき ● 公
- ・忍城址と水城公園に距離感があるため、径のような整備をしてほしい／彩々亭と水城公園の繋がりを強化
→2つの拠点を結ぶ安全で歩きやすいルート整備／水城公園と歴史的資源のネットワーク化により更なるエリアの魅力向上 ● 公

今後の景観まちづくりの進め方（役割分担や公民連携）

- ・忍城、埼玉古墳の認知が高まったため、今後は、日本遺産に対して観光面でもサポートしたい
→行田の歴史ストーリーづくり（プロモーション） ● 公 ● 民
- ・忍城周辺の植栽のメンテナンスが1～2回/年であるため、雑草が伸びている状態が長く見られる。その間、住民ボランティアが管理水準をキープすることも考えられる
→住民が参加・協力した植栽のメンテナンス ● 民 ★
- ・空き地の所有者が十分に管理できていない状況が見られることから、市が所有者と地域をコーディネートし、日常的には地域で管理し、自由に使える協定のような仕組みづくりがあっても良い
→行政の仲介による空き地の地域管理・活用の仕組みづくり ● 公 ● 民

その他

- ・鉄剣マラソンに走りに来てくれた人に忍城周辺も見てもらいたい／昔は3日間3エリアで行っていた
→ゴール位置やルートにまちなかも組み込めないか。応援する人もまちなかの方が多い ● 公
- ノベルティとして地域で使える割引券などまちなかでも使えるものを配ってはどうか ● 公 ● 民
- ・町中からも遠くが見える行田の景観がいかせるようなところがほしい ● 公



○ 鉄道駅

